

巻頭随想

「OMAの未来に向けたビジョン 八策の提言」をまとめて

株式会社 ラピーヌ 取締役会長
一般社団法人大阪能率協会 副会長

市川雅邦



2016年3月、4月号の産業能率の巻頭随想で大森副会長（当時）は、「日本一の中小企業経営（マネジメント）研究グループを目指そう」のなかで、協会消滅に対する危機意識をもって、100周年に向かって大阪能率協会の会員が共有できる大きなビジョンを持ちたいと考え、未来ビジョン委員会を立ち上げられました。大森副会長が未来ビジョン委員会委員長に就任。その卓越したリーダーシップにて、未来ビジョン委員会を引っ張っていただきました。2016年5月20日に24名の出席者にて第1回未来ビジョン委員会を開催、委員の皆さまからビジョンに関する意見を聴かせていただきました。（発言の内容については、「未来に向けたビジョン八策の提言」（以下八策提言）のP44～P47）大森委員長より未来ビジョン八策が示され委員にレポートの提出が求められました。未来ビジョン八策とは、1. 協会の永遠の発展の為の諸方策 2. 新グループ結成策 3. OMA法人目的（定款第3条）の改善策 4. 「OMAご入会のメリット」協会強みの諸方策 5. 協会の財務基盤を強化安定させる諸方策 6. 新入会員獲得策と退会防止策 7. 協会諸活動の品位・品格の向上策 8. スローガンと行動指針策です。（八策提言の考え方は、P14～P16）6月24日第2回未来ビジョン委員会は開催。大森委員長より未来ビジョン八策の説明、出席者全員から未来ビジョンに対する提言の発表がありました。（24名の未来委員会提言集は、「八策提言」のP53～P96に記載。）7月21日第3回未来ビジョン委員会は、八策を3つのチームに分けてチーム毎に提言集を基に協議を行い、その後チームごとに打ち合わせをしまとめたものが、「八策提言」のP17～P18に掲載されています。「協会の永久の発展の為の諸方策」では、OMAの会

員情報の整備と人材活用。会員相互の交流を深める場の提供などの提言がありました。

「新グループ結成への提言」では、既存事業の充実、特にアジア・中国事業支援室の拡充。新しい能率をIOTから考えるグループ、IT支援室の設立。中小企業後継経営者養成コースの創設。産学連携事業の推進。企業の従業員の対する出前講座。個人会員に対するライフプラン作成。などが提言されました。

「OMA法人目的（定款3条）の改善策」では、定款の表現には、一部古風なものがあり、新しい時代に応じた新解釈が必要。大阪府の中小企業施策に対する連携強化。定款目的と併せ、IT化、グローバル化等、新しい時代に対応し創立100年を展望した協会のあるべき姿、求められる活動、地域社会との関わりを明示PR。などが提言されました。

「OMAご入会のメリット」協会の強みの諸方策については、会員種別にニーズを把握し対応。新入会員歓迎会開催。アンケート、企業会員ヒアリング訪問。などが提言されました。「協会の財務基盤強化安定策」「新入会員獲得策と退会防止策」については、協会の財務基盤強化安定のためには、安定した会員基盤が必要。個人会員の絶対数を増やすことと特別会員の増加が必須。などの提言がありました。定款の変更、新グループとして「稲穂の会」の設立が具体化しました。委員の皆さまの知見がいっぱい詰まった提言集です。どうかご活用いただきたいと存じます。また、貴重な提言をいただきました委員の皆さま、なにより委員会の立ち上げから会の運営に至りますまで、率先垂範された大森前委員長に敬意と感謝の意を申し上げます。

（追）H29.1.31（未来ビジョン委員会は終了し、この未来ビジョン提言はOMA少徳会長に引継ぎました。）